

環境マネジメント

環境教育への取り組み

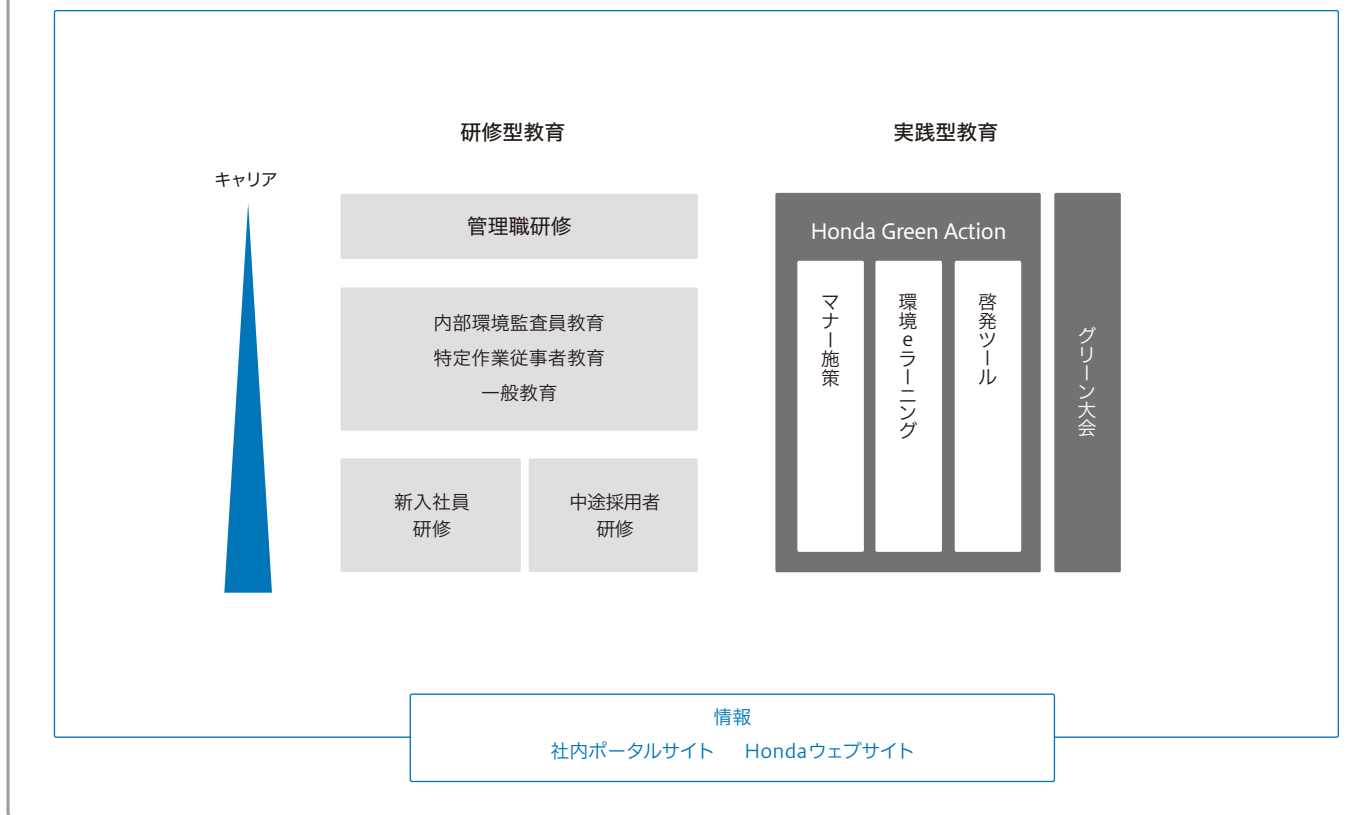
モビリティ製造業が担う環境負荷への責任の重大性を従業員自らが認識し、個々の業務で環境への取り組みを意識づけるように、体系的に環境教育を行っています。

新入社員や昇格者、特定作業従事者などを対象に実施する研修型教育と、従業員の環境意識の向上を日々の業務のなかで養っていく実践型教育を柱にしながら、社内ポータルサイトやHondaウェブサイトの活用で全従業員への網羅的な情報提供を随時行える環境を整え、教育効果を高めています。

研修型教育

各事業所および関連子会社では、環境マネジメントシステムのもと、教育・訓練の実行計画を立て研修形式での環境教育を実施しています。新入社員においては入社研修時に環境に対する基礎的な内容や業界を取り巻く状況、Hondaの環境取り組みについて理解を深めます。入社時研修後に製作所実習を行う場合は、受け入れ事業所が環境に関する考え方や取り組み内容を説明。生産業務を体験するなかで、製造工程における環境への取り組みに対する理解を促進しています。また、中途採用者においても同様な研修を行い、転勤時には異動先でも研修を行っています。さらに、新任管理職を対象とした管理職研修においては、マネジメント層に求められる環境意識や知識について理解し、環境に対するHondaの目指す方向性を再認識する内容となっています。その他にも、特定作業従事者教育、内部環境監査員教育を定期的実施しています。

環境教育の体系図



環境マネジメント

実践型教育

研修型教育だけでは得ることのできない恒常的な環境意識の向上や環境好事例の共有を目的とし、日々の業務のなかでの教育を実施しています。

●Honda Green Action

[マナー施策]

環境への取り組みを展開していくうえで、社内の従業員一人ひとりの環境意識を高め、日常で自らができることは確実に実行していくことが必要です。2009年に「Honda Green Action」の名称を定め、従業員個人を対象に活動を開始しました。2010年からはグループ全体に活動の輪を広げています。

[啓発ツール]

「Honda Green Action」ではさまざまなツールを活用し、従業員へ身近な環境活動への意識づけをしています。毎年6月の環境月間に合わせて、啓発ポスターや省エネ推進ステッカーを配布しています。



啓発ポスター(左)
省エネ推進ステッカー(上)

[環境eラーニング]

環境マネジメントシステムに基づいた研修型教育に加え、実践型教育の一環として環境eラーニングを実施しています。これは「Honda環境検定」と名付けられ、「Honda Green Action」が掲げる取り組みを中心に、環境問題の一般的知識や世界の動向などをクイズ形式で出題して解答を解説するもの。社内イントラネットおよびウェブサイトで公開しており、役職、専門性を越えた受講ができるため、従業員全体の環境意識向上に寄与しています。2014年にはスマートフォンやタブレット端末にも対応し、英語版をグローバルウェブサイトで公開しています。



Honda環境検定 気候変動問題編(上)と、エネルギー問題編(下)
<http://www.honda.co.jp/leafel/e-learning/>

●グリーン大会

環境負荷低減の優秀事例を水平展開し、その活動の定着を図るため、Hondaでは1999年よりグリーン大会を開催しています。毎年、事業活動領域ごとに領域大会を開催し、3年に一度、国内のHondaグループ総体で本選大会が行われます。

2016年度は3年に一度の本選大会の年に当たり、各領域から選抜された優秀事例6テーマが発表されました。さらに今回は初の世界大会「Hondaグリーン大会2016」も同時開催され、日本だけでなく北米、南米、欧州、アジア・大洋州、中国から選抜された優秀事例9テーマが発表されました。



ツインリンクもてぎで開催された「Hondaグリーン大会2016」



日本地域大会と初の世界大会を同時開催



日本地域大会の発表者一同による集合写真